

【表紙】

| | |
|------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 【提出書類】 | 臨時報告書 |
| 【提出先】 | 関東財務局長 |
| 【提出日】 | 2021年10月29日 |
| 【会社名】 | 協栄産業株式会社 |
| 【英訳名】 | KYOEI SANGYO CO.,LTD. |
| 【代表者の役職氏名】 | 取締役社長 平 澤 潤 |
| 【本店の所在の場所】 | 東京都渋谷区松濤二丁目20番4号 |
| 【電話番号】 | (03)3481-2111(代表) |
| 【事務連絡者氏名】 | 取締役常務執行役員 コーポレート本部長 村 本 篤 |
| 【最寄りの連絡場所】 | 東京都渋谷区松濤二丁目20番4号 |
| 【電話番号】 | (03)3481-2111(代表) |
| 【事務連絡者氏名】 | 取締役常務執行役員 コーポレート本部長 村 本 篤 |
| 【縦覧に供する場所】 | 株式会社東京証券取引所 (東京都中央区日本橋兜町2番1号) 協栄産業株式会社 3DPテクニカルセンター (神奈川県相模原市緑区大山町5番24号) 協栄産業株式会社 大阪営業所 (大阪府大阪市福島区福島三丁目14番24号 福島阪神ビルディング) |

(注)3DPテクニカルセンター及び大阪営業所は法定の縦覧場所ではありませんが、投資家の便宜のため縦覧に供しております。

1【提出理由】

当社は、2021年10月28日開催の取締役会において、固定資産を譲渡することを決議いたしました。これに伴い、当社及び当社グループの財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況に著しい影響を与える事象が発生いたしましたので、金融商品取引法第24条の5第4項並びに企業内容等の開示に関する内閣府令第19条第2項第12号及び第19号の規定に基づき、本臨時報告書を提出するものであります。

2【報告内容】

(1) 当該事象の発生年月日

2021年10月28日

(2) 当該事象の内容

1．譲渡の理由

当社グループは、2022年4月以降に、営業を主に担当している東京都渋谷区の本社と、技術・開発を主に担当している同大田区のTRCオフィス、東京都品川区の品川シーサイドキャナルタワーに移転統合し新本社とするとともに、新たな収益機会の創出とオフィススペースの効率的利用による固定費削減等を図り、中期経営計画の達成を目指してまいります。

以上より、現本社を売却し、中期経営計画の達成に向け、更なる事業拡大を図るため、本件固定資産の譲渡を決定いたしました。

2．譲渡資産の内容

| 資産の名称及び所在地 | 譲渡価額 | 帳簿価額 | 譲渡益 |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------|------|-------------------|
| 現況：本社社屋 所在地：東京都渋谷区松濤2丁目20番4号 土地：面積 625.13 m ² 建物：地上7階地下1階 延べ床面積 2,922.19 m ² | 1 | 1 | 1,471百万円（概算） 2 |

1．譲渡価額、帳簿価額については、譲渡先の意向もあり開示を控えさせていただきます。

なお、帳簿価額は当社の連結純資産の30%未満であります。

2．譲渡益は、譲渡価額から帳簿価額と譲渡に係る費用等の見積額を控除した概算額です。

3．譲渡先の概要

譲渡先は、国内法人1社であります。譲渡先の意向もあり公表を控えさせていただきます。なお、当社と譲渡先との間には資本関係、人的関係、取引関係及び関連当事者として特記すべき事項はありません。

また、譲渡先は反社会的勢力と一切関係がないことを確認しております。

4．譲渡の日程

2021年10月28日 取締役会決議

2021年10月29日 売買契約締結

2022年3月31日 所有権移転（予定）

2022年7月5日 物件明渡し（予定）

5．損益に与える影響額

2022年3月期において、特別利益に固定資産売却益1,471百万円（概算）を計上する見込みであります。その他移転等の他の要因も含め当社業績へ与える影響を現在精査中であります。

以上